

NAE、「ドレーパー賞」、「ラス賞」、「ゴードン賞」の2013年受賞者を発表（1月3日）

米国工学アカデミー（National Academy of Engineering：NAE）は1月3日、工学者にとっての最高の栄誉といわれる、①チャールズ・スターク・ドレーパー賞（Charles Stark Draper Prize）、②フリッツ・アンド・ドロレス・ラス賞（Fritz J. and Dolores H. Russ Prize）、③バーナード・ゴードン賞（Bernard M. Gordon Prize）の3賞の2013年受賞者を発表した。

①では、初期の携帯電話のネットワーク・システム・基準の開発に貢献したとして、1960～1970年代にベル研究所（Bell Labs）に勤務していたリチャード・フレンキール氏（Richard H. Frenkiel）や、同時期に電電公社電気通信研究所に勤務していた奥村善久氏を含む5人に総額50万ドルが授与される。

②は、2年に1度授与される賞で、今回はレーザー屈折矯正角膜切除術（photorefractive keratectomy：PRK）及びレーシック（laser-assisted in situ keratomileusis：LASIK）として知られる視力矯正手術を開発した功績に対して、ランガスワミー・スリニバサン氏（Rangaswamy Srinivasan）ら3人に総額50万ドルが授与される。

③では、フランク・オーリン工科大学（Frank W. Olin College of Engineering）の創設と、学生主体の新たな工学教育アプローチを開発したとして、リチャード・ミラー氏（Richard K. Miller）ら3人に総額50万ドルが授与されるが、そのうち半額は、研究開発とイノベーション普及継続のために、受賞者の所属機関に贈られる。

これら3賞の受賞式は、2月19日にワシントンDCにおいて行われる予定である。

National Academy of Engineering, National Academy of Engineering to Present \$1.5 Million for Engineering's Highest Honors

<http://nae.edu/Activities/MediaRoom/News/67339.aspx>